

チャイムのない学校

--五日市南中学校区内--



第55号平成24年 2月17日
広島市立五日市南中学校
〒731-5135 佐伯区海老園4-2-21
TEL082-923-5601 FAX082-923-9828

校長室だより

ダルビッシュ有は、野球に対して一途でありたいと語り、相手選手から冗談でも対戦したくないよ。打てないよという言葉は聞きたくなかった。自分自身もそして試合もみんなの協力やファンの応援で動く。

～1月27日（金）修学旅行解団式にて～

「おはようございます。2泊3日の修学旅行を通して、”時間/責任/協力”と勉強をしてきましたね。そして修学旅行先でも

”仕事に対する一途な思い”と

”社会やみんなのために働いたり、人のために働きたいという思い”を持っている方に多く出会いました。

特に2日目の体験学習の時、そんな多くの出会いがありましたね。そんな出会いは、自分の人生を豊かに、そしてあたたかくしてくれます。

さて、修学旅行の最中に

北海道日本ハムのダルビッシュ有が、大リーグに行く複雑な気持ちを話していました。

人間を救うのは、人間だ。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

つまり、ダルビッシュ有は、北海道日本ハムのファンに救ってもらい、あたたかくしてもらい、協力してやればどんな強敵でも破ることができるそんな経験を与えてくれた。そんなこの日本の地で、これからは野球を通して真剣勝負したいと考えている。でも、これからはアメリカに渡り野球を通して真剣勝負をしなければいけなくなったと考えた。迷いはしたが協力して支えてくれたファンのためにも、大リーグで真剣勝負をしてくと

シンボルマーク



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

語っていました。

ダルビッシュ有が大切にしていることが二つありましたね。

○野球に対しての一途な思い

○社会やファンのために貢献したいという思い

だから、大リーグに行き〔上演図〕

アメリカに渡る彼に対して 漫画「はだしのゲン」の作者、中沢啓治さん・・・裸足で駆け続けるガキ大団長に、さまざまな漫画描き続けられました。踏まれても踏まれても、伸びていく妻のように。
別にして、 御覧下さい、漫画のコマから飛び出す世界！そのペンの先に込められた思いとは・・・。

彼の人生を豊かにするであろうと
ファンは思った。

そして、ファンは彼に対して
あたたかな気持ちを持った。

広島市立舟入高等学校 演劇部

中沢啓治 作「ヒロシマの空白 中沢家始末記」より
「麦っ子ゲン」

めっき教室から考える夢

～企業から見たキャリア教育～

清川メッキ工業株式会社

さて、2年生のみんなも、
○大切にしている何かに対して一途であること
○社会やみんなのために働いたり、人のために動きたいという思いを持つこと
の二つを通して、
これからの学校生活の中で”時間・責任・協力”を
合い言葉に頑張っていてください。以上です。」

中学校授業体験（国語・数学・英語）及び部活動体験

～2月3日（金）新入生予定の小学校6年生～

13時45分、五日市南小学校と楽々園小学校と学区外の小学校の児童が、体育館にて静かに待っていました。そこで、先ほどのダルビッシュ有の話をしました。

「ダルビッシュ有と児童との年齢差は15才程度です。今より、15年後に児童たちが働く場所は、国内もありますが、国内でない可能性も多くあります。ダルビッシュ有のように、アメリカで働く児童もいるでしょう。とても楽しみです。ただ、国内でも国外でも働いて生き抜いていくためには、努力が必要です。このチャイムのない学校で次のような目標で勉強をしてください。

○ダルビッシュ有のように一途になる大切な何かを持つこと。

○ダルビッシュ有のように社会やみんなのために働いたり、人のために動きたいという思いを持つこと。

それでは、授業体験や部活動体験を頑張ってみてください。以上です。」

夢を持ち、大切なものに一途になれること、社会貢献や協力ができることそして、そのための努力ができること（キャリア教育）

～縦（親子、小中先生と生徒）や横（友達）の関係だけでなく、斜め（地域と生徒、ゲストティーチャーと生徒、PTAや学校ボランティアと生徒）の関係を通して～
五日市南中学校の生徒を、この地域の方やPTAや学校ボランティアの方そしてゲストティーチャーが斜めの関係をフルに使って、大きく力強く育ててくれています。いつもありがとうございます。小中中に斜めの関係を入れながら、児童生徒が『夢を持つこと』『大切なものに一途になること』『社会貢献や協力を大切にすること』『そのための努力を惜しまないこと』を目標に育っていくことを願っています。今後とも、ご協力よろしく申し上げます。